ジョブズのお勧め本：白鯨（洋書の要約/レビュー）－ホワイトボードアニメーション動画―

まず白鯨を簡単に要約しますと、とある渡航中にエイハブ船長が乗った船は巨大な白いクジラに襲われ、船は座礁し、エイハブ氏は片足をクジラに食いちぎられましたが、唯一生き残り、モビー・ディックとあだ名を付けたこの白いクジラを殺すために再び航海に出ると言うお話しです。

復讐心とモビー・ディックを殺すと言う目標だけに囚われたエイハブ氏は仲間の船員の命や意見、そしてエイハブ氏自身の人生をないがしろにし、モビー・ディックに再び挑み、再び船を破壊されて、命も奪われてめでたしめでたしです。

この本の中でも私が受け取った教訓が２つありますので、２つの動画に分けてご紹介したいと思います。

**１．重要では無い事に囚われるな！**

モビー・ディックに対する復讐は果たして重要だったのか？復讐をする必要はあったのか？と言う事を考えると、船員の命や、辛うじて生き延びたエイハブ氏自身の命を他の大切な事に使う事も出来たわけです。

人の人生でも、ソーシャルメディアやら、テレビ番組やら、職場での昇進、同僚や後輩との競争など、死ぬ間際に人生を振り返った時に重要では無いはずの多くの事に囚われてしまう事が人の人生ではよくあるのではないでしょうか？

何があなたの人生にとって重要な事なのか？と言う所を常に意識しながら毎日を過ごす必要があるかもしれません。

**２．目標に囚われて周りが見えなくなる事**

モビー・ディックの殺すと言う事だけの目標に囚われて、復讐の鬼と化したエイハブ氏でしたが、目標以外は何も見えなくなってしまったわけです。それにより、周りの船員の意見を聞く事も無く、独り相撲で最終的には命を落としたわけですが、

やはり、目標を持って猪突猛進する事が大事ですが、柔軟に回りの意見を聞いたり、臨機応変に適材適所で調整、調節、修正をして振る舞う事は大事ではないでしょうか？

そして、モビー・ディックを殺すと言う大きな目標以外にも、目指す事が出来る目標やターゲットなんて探せばきっとあったわけですから。

バージン・エアーと言う飛行機会社の社長であるリチャード・ブランソン氏が「チャンスはバスのように、乗り逃しても、また次が来る。」と言う格言を残しています。エイハブ氏にも同じように、追いかけるべき白いクジラがモビー・ディック以外にも居たかもしれませんね。